

デジタル業務無線の送信平均電力と アンテナVSWR測定を同時測定

通過型パワーセンサ MA24103A

25 MHz ~ 1 GHz, 2mW ~ 150W

無線システムの信頼性維持

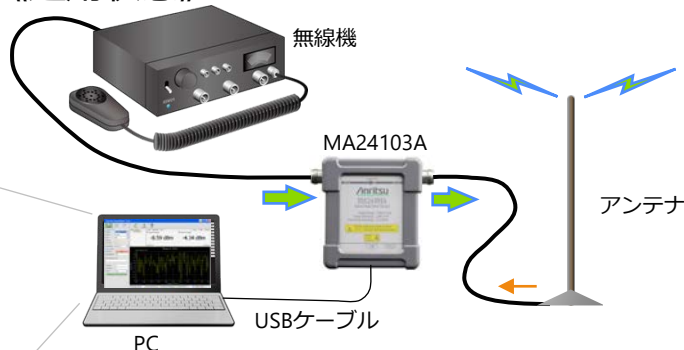
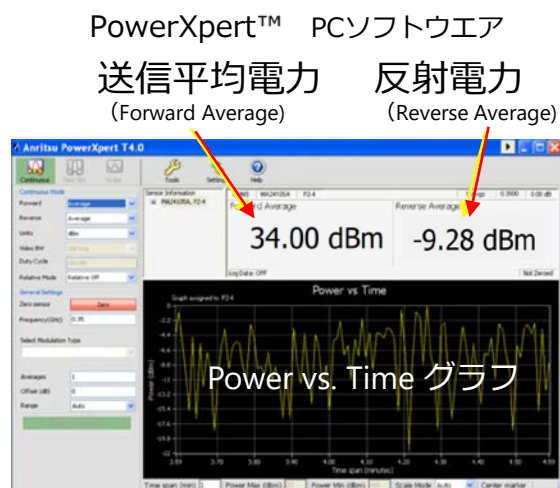
通過型パワーセンサMA24103Aは、25 MHzから1 GHzまでの各種無線機の送信平均電力（最大150W）とアンテナシステムのVSWRや反射電力を同時に測定することができる双方向のセンサです。

CWはもちろん狭帯域デジタル通信（ARIB STD-T61）や市町村デジタル同報通信システム（ARIB STD-T86）など様々な信号*の平均電力を測定でき、無線システム全体の品質を管理・維持するために有効な測定器です。

MA24103Aは、MS2720T スペクトラムマスタやPCにUSBケーブルを介して接続して使用します。PCと接続した場合、無償で提供されるPowerXpert™ ソフトウェアから各種設定や測定結果を得ることができます。

* : ARIB STD-T61/79/86/98/102/115など

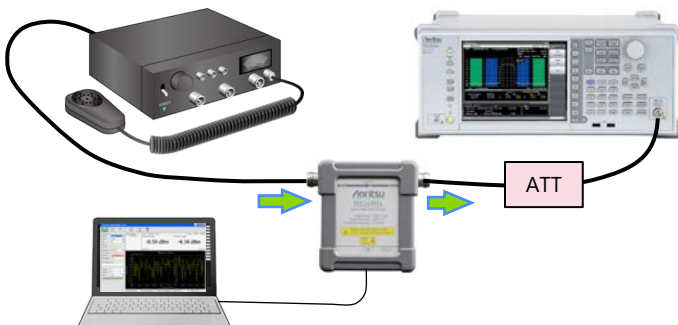
《運用状態》



《登録点検時接続》

COM41	MA24103A	2327028	3D-Avg	0.9400 GHz	0.00 dB
Forward Average		VSWR			
39.97 dBm		1.59			
Log Data: OFF					

▲ 送信平均電力 / VSWR表示



特長

- 通過電力測定：システムのダウンタイムを最小限に抑え、稼働中の無線信号を監視
- 二方向測定：送信電力と反射電力／アンテナ系のVSWRなど測定
- 実効値測定：信号の平均電力測定

主な仕様

項目	仕様
周波数範囲	25 MHz ~ 1 GHz (MA24103A)
送信電力測定レンジ *1, *2	2 mW ~ 150 W (+3 dBm ~ +51.76 dBm)
反射電力測定レンジ	2 mW ~ 150 W (+3 dBm ~ +51.76 dBm)
方向性	≥ 28 dB : 25 MHz ~ < 1 GHz
挿入損失 (代表値)	≤ 0.15 dB : 25 MHz ~ 1GHz

- *1: 安定した測定値を得るには、入力電力が100mW (20dBm) 以上を推奨します
 *2: 連続波での測定を推奨しますが、パースト波 (例: 周期40ms, 80ms等) を測定する場合は、安定した測定値を得る為に十分なアベレーシング設定を行ってください (例: 100回)

アンリツ ハンドヘルド スペクトラムアナライザ や PCと接続



対応機種：MS2720T, S412E, S331E, S332E,
 S361E, S362E, MS2024B, MS2025B,
 MS2034B, MS2035B, MS2036C, MW82119B

本資料は、記載内容をおことわりなしに一部変更する場合があります。
 また、各測定画面例の数値結果等は保証される値ではありません。規格値はカタログ/データシートをご覧ください。